



World Vision

この子を救う。未来を救う。



## インド共和国 サーガル地域開発プログラムのご紹介 (IND-218580)

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもを対象にしたお金や物の提供ではありません。支援地域の人々が子どもの健やかな成長のために必要な環境を整えられるよう、チャイルドが住む地域を支援するプログラムです。チャイルドが住む地域と、現地でワールド・ビジョンが実施しているプログラムについてご紹介します。

### 地域の課題



栄養不良と診断された女の子



### 保健衛生・栄養

- 慢性的な栄養不良の子ども **42.7%\***



### 生計向上

- 世帯収入が少ない
  - \*平均年収は約6万ルピー(約10万円)
  - \*国内で最貧層とみなされる世帯年収の基準は10万ルピー(約16万円)
  - \*平均世帯人員は4.6人



貧しい世帯の一般的な住居



### 子どもの権利と保護

- 児童婚が多い
- 成人女性の識字率が低い
- 指定カーストへの根強い差別

\*2019-2021年

## 国情報

### インド共和国

パキスタン、中国、ネパール、ブータン、バングラデシュ、ミャンマーと国境を接し、約13億8千万人（世界第2位）の人口をもつ南アジア最大の国です。公用語はヒンディー語ですが、憲法で公認されている州の言語は22あります。宗教はヒンズー教が約80%と主流で、イスラム教、キリスト教と続きます。教育制度は、就学前教育(3年・私立のみ)、初等教育(5年)、中等教育(4年：3-2-2年)、高等教育(3年～)で、義務教育は初等教育の8年と、中等教育の3年間です。



## 地域情報

### サーガル 地域開発プログラム

#### 支援期間：2021年～2032年

\*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

首都ニューデリーから南へ約700km、インドの北中央部に位置するマディヤ・プラデーシュ州サーガル郡にて、サーガル地域開発プログラムを実施します。インドは近年目覚ましい経済成長を遂げていますが、サーガル郡の貧困率は40.5%と高く（2015-2016年、政府による統計）、5歳未満児の栄養不良率は国の平均を上回ります。多くの住民が農業で生計を立てているものの、収入は非常に限られており、特に近年は気候変動に伴う干ばつ、熱波、ひょうによって農作物に被害が出ています。また、児童労働や児童婚などの問題も抱えています。

## 地域の課題



### 保健衛生・栄養

栄養バランスのよい食事を十分に得られる家庭は少なく、安全な水や衛生的なトイレも限られているため、多くの子どもたちが慢性的な栄養不良や下痢に苦しんでいます。住民の栄養や健康管理に対する意識や知識は低く、地域に古くから残る慣習に頼っています。



### 生計向上

自分の土地を持たない農家が多く、小作農としてわずかな賃金を得て生活しています。そのため、農業だけでは食べていくことができず、多くの家庭で男性は出稼ぎや日雇い労働に従事しています。定職に就けない若者も少なくありません。



### 子どもの権利と保護

子どもや女性の権利・保護に対する認識の低さが、女性の識字率の低さや少女の早婚につながっています。経済的な苦しさを理由とした児童労働や家庭の暴力・虐待、また根強く残る指定カーストへの差別など、さまざまな問題を抱えています。

## WVが行う支援活動

- ・ 妊産婦と子どもの健康状態の確認
- ・ 安全な妊娠・出産に関する啓発
- ・ 給水設備やトイレなど、水衛生環境の改善
- ・ 保健省が運営する子どもの発達支援センターの支援



乳幼児の保健・栄養に関するメッセージを聞く女性たち

- ・ 特に貧しい世帯に、家畜飼育や小規模ビジネスなどの収入向上支援
- ・ 土地を持たない貧しい農家へ、農機具などの支援
- ・ 若者を対象とした職業訓練



収入を増やすためヤギの飼育を支援しています

- ・ 子どもの権利、児童婚や差別撤廃に関する啓発
- ・ 子どもクラブや青少年クラブの活動
- ・ 子どもたちへのライフスキル（日常生活で生じる問題などに対応する能力）研修の実施



子どもクラブではさまざまな活動を行います

## 支援はチャイルドの生活を変える力となります



両親、弟と暮らすブペンダーくんは、3歳の誕生日を迎える直前、地元政府が行った健診で栄養不良と診断されました。年齢に見合った身長、体重に全く達していなかったからです。保健職員はブペンダーくんを入院させるよう勧めましたが、健康や栄養についての知識が少なかった両親は状況をあまり深刻にとらえず、また入院の付き添いで仕事を休むと収入が減ってしまうことを心配して、自宅に留まることにしました。

支援地域には、栄養不良に苦しみながらも、貧困、知識・意識の欠如、公的支援が届かないなどの理由で、必要な治療を必要ときに受けられない子どもがたくさんいます。

ワールド・ビジョンは、ブペンダーくんのような子どもたちが、健やかに希望を持って成長できるよう、支援活動を行っています。

### マイ ワールド・ビジョンに登録しませんか？

登録（アカウント作成）後ログインしていただくと、チャイルドと支援地域の写真や情報をご覧いただけます。


ホームページトップの「**支援者の皆さまへ**」に進み、「**アカウント作成**」のボタンから、手続きをしていただけます。

また、右のQRコードからメールアドレスをご登録いただければ、チャイルドや支援地域からの最新動画、イベント情報などもお届けします。



公式SNSでは、世界の子どもたちをとりまく情報を発信しています。  
ぜひ「いいね！」や「シェア」をして、お友だちにご紹介ください。

 **FACEBOOK**  
@worldvisionjapan

 **Instagram**  
@worldvisionjapan

 **Twitter**  
@WorldVisionJPN